



2026 年 10 月 14 日

各 位

会 社 名 スターシーズ株式会社
代表者名 代表取締役社長 鈴木 雅順
(東証スタンダード・コード:3083)
問合せ先 管理本部長 竹谷 治郎
(TEL.03-6721-5891)

2027年2月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2026 年 6 月 3 日に発表いたしました、2027 年 2 月期第 2 四半期（中間期）の連結業績予想と、本日公表の実績数値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2027年2月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績値との差異(2026年3月1日～2026年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A) (2026年 6 月 3 日発表)	百万円 8,600	百万円 280	百万円 230	百万円 150	円 銭 17.90
実績値 (B)	15,534	32	△76	△248	△28.69
増減額 (B－A)	6,934	△248	△306	△398	△46.59
増減率 (%)	80.6	△88.6	—	—	—
ご参考 前期第 2 四半期実績 (2026年 2 月期中間期)	2,511	△217	△222	△241	△47.00

2. 業績予想の差異の理由

当中間連結会計期間におきましては、GPUサーバー等事業において、大型案件の受注が相次ぐなど、想定を上回り好調に推移したことから、売上高については、2026年6月3日に発表いたしました業績予想8,600百万円を大きく上回る15,534百万円の着地となりました。

一方で、営業利益につきましては、「①系統用蓄電池事業において、事業の進捗は堅調に推移しているものの、市場環境や個別商談状況等をふまえ、当中間連結会計期間における売却は1物件のみにとどめ、他の物件の売却は利益の最大化のために第3四半期以降に行う方針としたこと」、「②前期より開始した新規事業である系統用蓄電池事業及びGPUサーバー等事業、並びに本社部門等において、人員の新規採用や各種業務委託費用等を含む先行投資費用を、事業推進を加速するために前倒して計上したこと」等により、2026年6月3日に発表いたしました業績予想280百万円を下回る32百万円の着地となりました。また、

営業利益が予想を下回ったことから、経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益についても、予想を下回っての着地となりました。

なお、「①第3四半期以降においても、GPUサーバー等事業が引き続き好調に推移していること」、「②系統用蓄電池事業については、当初より下期偏重の事業計画であり、当中間連結会計期間において売却を行わなかった物件も含め、第3四半期以降に売却が見込めること」、また、「③当社グループにおいては十分なシナジー効果が生み出せず赤字が継続していた連結子会社である株式会社チチカカを売却したこと」等による売上・利益への貢献を勘案し、2027年2月期通期業績予想に変更は御座いません。

以 上